

# 「企業と生物多様性イニシアティブ」 (JBIB)のご案内

Japan Business Initiative for Conservation and Sustainable Use of Biodiversity

## 設立背景

現在わたしたちが直面する生物多様性の危機は、人間活動によってもたらされたものです。企業の活動、製品、サービスからの影響も、生物多様性の喪失に大きく関係しています。生物多様性の喪失による空気、水、食物、気候の影響を通じて、人類の生存が脅かされるのみならず、企業自身の持続可能性も危機にさらされることになります。

生物多様性の喪失を軽減するためには企業による取り組みが不可欠であるとの国際的な認識から、2006年の生物多様性条約第8回締結国会議(CBD/COP8)において、民間部門に活動への参画を促す決議が採択されました。この決議を受けて、日本の「第三次生物多様性国家戦略」(2007年11月閣議決定)および「生物多様性基本法」(2008年5月成立)でも企業の参画を求めています。環境省が昨年改訂した「環境報告ガイドライン」(2007年版)には、新たな報告項目として「生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況」が記載されています。

2010年に名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議(CBD/COP10)では、日本企業の生物多様性の取り組みに国際的な注目が集まることが予想されます。その2010年に向けて、2008年4月1日、生物多様性の保全及び持続可能な利用に高い意欲で取り組む企業を会員とする『企業と生物多様性イニシアティブ』(Japan Business Initiative for Conservation and Sustainable Use of Biodiversity; JBIB)が設立され、生物多様性保全への取組みを進めています。

## 活動目的

JBIBの活動目的は、以下の5つです。

1. 生物多様性の保全と持続可能な利用に関する学習
2. ステークホルダーとの対話
3. グッドプラクティスなどの情報発信
4. 成果の可視化等に関する研究開発
5. 生物多様性に関する政策提言

## 会員企業(本会員全33社)

株式会社秋村組	清水建設株式会社	株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ
味の素株式会社	住友林業緑化株式会社	株式会社博報堂
アスクル株式会社	セイコーエプソン株式会社	パナソニック株式会社
株式会社INAX	積水ハウス株式会社	株式会社日立製作所
NTTレゾナント株式会社	双日株式会社	富士ゼロックス株式会社
花王株式会社	株式会社大和証券グループ本社	富士通株式会社
鹿島建設株式会社	株式会社竹中工務店	ブラザー工業株式会社
株式会社グリーン・ワイズ	帝人株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
コスモ石油株式会社	株式会社電通	株式会社三井住友銀行
サラヤ株式会社	トステム株式会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
JSR株式会社	凸版印刷株式会社	株式会社リコー

(2010年6月21日現在、会社名五十音順) ※ネットワーク会員は12社



# 「企業と生物多様性イニシアティブ」 のご案内

*Japan Business Initiative for Conservation and Sustainable Use of Biodiversity*

## 活動内容

JBIBは、参加企業が主体に連繋して活動し、生物多様性の保全に取り組むことを目指しています。具体的な活動は、下記の二部会に分かれて行います。

### 研究開発部会

生物多様性の保全に関して、国際的な流れを含めて研究し、指標などを開発することを目的とします。

- ・ 水、木材、金属、化石燃料等の天然資源のマクロレベルで流れについて、専門家を招いて研究し、あわせて参加企業の本業でのリスクを明らかにします。
- ・ リスク認識を受けて、参加企業の本業やサプライチェーンにおける生物多様性との関係性を分析し、業界別「関係性マップ」を作成します。
- ・ 多様な活動主体と連繋することで、生物多様性保全活動に対するモニタリング手法と指標の開発に取り組みます。

### コミュニケーション部会

ステークホルダーとの対話、外部への情報発信等の活動を通して生物多様性の重要性を広く知らしめることを目的とします。

- ・ CBD/COP10 に向けて啓発活動のためのシンポジウム等を開催します。
- ・ CBD/COP10 において、日本の生物多様性の豊かさとそれと共存する暮らしやモノづくりの知恵を世界に向けて発信します。

## 参加の利点

企業の方には、JBIBにご参加いただくことで、次のような利点があると考えられます。

- ・ 参加企業同士相互に、さまざまな業種で試みられている生物多様性保全に対するグッドプラクティスを学ぶことができます。
- ・ 生物多様性に対する国際的なトレンドを的確に把握し、本業でのリスクを管理することができます。
- ・ 多くの企業が結束することで、企業による生物多様性の保全について強くアピールすることができます。

尚、年会費は、一口 315,000円（税込）です。

## ご連絡先

JBIBに関するお問い合わせは、以下までお願いします。

JBIB事務局（株式会社レスポンスアビリティ内）

担当：野村

〒141-0021 品川区上大崎1-1-4-402

電話：03-6303-9799 fax：03-6303-9798

e-mail：info@jbib.org web：http://www.jbib.org

